

八成小の道徳～自分の心と向き合って～

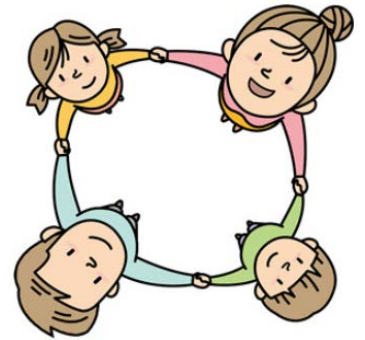


杉並区立八成小学校
令和2年11月28日
道徳教育推進担当：富樫

学校・家庭・地域社会と共に

年に一度行われる「道徳地区公開講座」。本来ならば、保護者・地域の方々に学校の道徳教育をご参観いただく機会としていましたが、今年度は限られた形での道徳地区講座となりました。しかし、保護者・地域の方々に道徳教育について知っていただき、共に考える機会としたいと思い、「八成小の道徳」を作成しました。

学校では、週一時間程の道徳授業を行います。「道徳授業は要であり、全教育活動で道徳教育を行うものとする。」とされています。つまり、道徳授業の時間だけではなく、全ての教育活動において道徳教育を行うことが求められています。そして、これは学校教育だけではなく、家庭、地域社会、子供たちが過ごす全ての時間の中で道徳性を養っていくことが求められると考えています。学校教育、家庭、地域とが一体となって子供たちを見守り、共に道徳性を養っていくことで、子供たちのよりよい生き方へと繋がると考えています。



学校で行う道徳教育の内容

道徳の授業は、22の内容項目に基づいて行われます。もちろん道徳性は、22の項目だけに明確に分けられるものではありません。この内容項目を基に、横断的・発展的指導を行ったり、日常生活の事象や子供たちの実態に合わせて授業を行ったりしています。また、発達段階に応じて定められた学年のみで指導する内容もあります。

A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること	C 主として集団や社会に関わること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
<ul style="list-style-type: none">・ 善悪の判断、自律、自由と責任・ 正直、誠実・ 節度、節制・ 個性の伸長・ 希望と勇気、努力と強い意志・ 真理の探究	<ul style="list-style-type: none">・ 親切、思いやり・ 感謝・ 礼儀・ 友情、信頼・ 相互理解、寛容	<ul style="list-style-type: none">・ 規則の尊重・ 公正、公平、社会正義・ 勤労、公共の精神・ 家族愛、家庭生活の充実・ よりよい学校生活、集団生活の充実・ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度・ 国際理解、国際親善	<ul style="list-style-type: none">・ 生命の尊さ・ 自然愛護・ 感動、畏敬の念・ よりよく生きる喜び

道徳の時間とは

道徳の時間は、「自己の生き方を見つめ、よりよい生き方について考える時間」と考えられています。道徳的価値と向き合ったときの自分の感じ方や考え方を見つめ、よりよい生き方とはどのような生き方なのかを、自分なりに考えていく時間です。

「道徳教育」というと、いつも正しいことを求められると思うかもしれませんが、人の内面的な弱さや葛藤などに気付かせることも大切です。例えば、「席を譲るには勇気がいる。恥ずかしくて言えない。」そんな気持ちも共感しながら考えていきます。親切な行為の実践を求めるのではなく、親切にすることの良さとは何だろうか、親切にできないときってどんな気持ちなのかなど、自分の考えを見つめ、内面的な資質を養っていくことを目指しています。

価値観は時代や環境によって多様に変化していくため、道徳性は完結するものではなく、生涯を通して考えていくものです。多様な価値観の中で、自分の心と向き合い、よりよい生き方とはどのような生き方なのかをじっくり考える素地を養っていくことが大切です。